

松前町

地域活性化に向けた 肉牛改良センターの取組

取組のきっかけ

松前町は主産業である水産業の不漁・漁獲枠制限等の影響により、水産業からの撤退等で、若者の働く場所の確保が課題となっていました。

一方、畜産業は主に肉牛繁殖経営で肥育牛や繁殖牛となる「素牛」を出荷し、市場が高値で推移していることもあり、安定した収入を得られています。しかし、農家戸数は減少傾向にあり、畜産農家の高齢化や後継者不足による離農が大きな要因となっています。

そのため、町では新規就農を目的とした研修生受け入れによる働く場所の創出と畜産農家の生産基盤の強化を図るため、地方創生拠点整備交付金を活用し、黒毛和種の改良や人材育成機能を持った肉牛改良センターを建設しました。

就農支援について

肉牛改良センターでは最長3年間、新規就農を目指す研修生が肉用繁殖牛を飼養し、繁殖経営に必要な技術や知識を学ぶことができます。

また、現在新規就農者に向けた賃貸型牛舎・堆肥舎・住宅を地方創生拠点整備交付金を活用して建設中であり、



松前町は北海道の最南端に位置し、福山（松前）城・寺町などの歴史と文化があるまちで、道内で最も年間平均気温の高い温暖な気候に恵まれています。

今回は令和元年に生産基盤の強化や新規就農者の確保を目的に建設した肉牛改良センターの取組について紹介します。

研修を終え、新たに農家を始める際の

農地取得や牛舎建設等の初期投資の負担軽減や町外からでも受け入れができるための住む場所の確保など、就農できる環境を整備し、安心して畜産経営を行う体制をつくり支援しています。

さらに、肉牛繁殖経営で新規就農をした場合、収入を得るまでに2年かかるころ、肉牛改良センターから子牛を購入し、市場へ出荷することで就農の初年度から収入を得ることができます。

現在、町外から来た2名と町内の元漁協職員1名が研修生として学んでいます。関係機関と連携し、町内だけでなく町外での研修や視察、必要免許の取得なども行い、就農に向けての準備が進んでおり、研修生のうち1名は来年度から新規就農を開始する予定になっています。



▲作業中の研修生

農家支援について

肉牛改良センターでは、優良な繁殖牛から採卵を行い、受精卵を生産・移植することで質の高い子牛を生産し、約3カ月齢で町内の農家に販売しています。

各農家では購入した子牛を、優良繁殖牛として保留したり、市場に出荷する牛の頭数を増やしたりすることで利益を生み出すことができます。

また、高齢化が進んでいることから、分娩作業等の労働負担を軽減するために、繁殖頭数を減少しても、センターから子牛を購入すれば、一定の収入を得ることができま

今後の展望

今後も多くの研修生を募集し、新規就農者を支援する取組をさらに強化することで、農家戸数の増加や畜産業の生産基盤強化を図っていきます。

そして供給体制を確立させた後は肥育牛の生産・商品化を行い全国へ発信し、松前町の地域活性化につなげていきます。



▲授精前や妊娠鑑定済みの繁殖牛を各房ごとに群で管理



美 瑛 町

電子地域通貨（Beコイン） による地域内消費の拡大

取組のきっかけ

美瑛町では、日常の買い物を町外で
する人が多く、購買力の流出が課題と
なっていました。そのため町内での消
費喚起と商店街の活性化を目的に平成
20年度から町民や観光客に向けてプレ
ミアム付き商品券発行事業を実施して
いました。しかし、商品券発行の労力
や換金コストがかかるうえ、効果が一
時的で事業終了後は反動減の傾向もみ
られたことから、これらの課題を解決
するため電子地域通貨「Beコイン」
の導入に踏み切りました。

Beコインとは

「Beコイン」はスマホアプリやカー
ドを利用したキャッシュレス決済サー
ビスで1ポイント＝1円として町内の
買い物などに利用することができます。
QRコード決済方式のため、店側では
Wi-Fi環境とSIMフリーのスマホ
があれば導入が可能です。町民には記
名式のカードが配付され、一人ひとり
のポイントも町で一括管理することが
可能となっています。町外の方も無記
名のBeコインカードを購入し、利用
することができます。町外向けに発行
したポイント付きのカードは完売とな
り、利用も増えています。

美瑛町は北海道の中央に位置する丘の景色や「青い池」で有
名な農業と観光のまちです。

令和3年4月に地域内消費の拡大や地域のコミュニティづく
りのため電子地域通貨（Beコイン）の本格運用をスタートさ
せました。このプロジェクトについて紹介します。



▲Beコインカード

Bieiの「B」と「e」から美瑛で暮ら
す皆様に愛され、英語の「Be」（な
る）から「商品に、サービスに、なん
んでもなるポイント」という意味が込
められています。

Beコインの特徴

Beコインは、1枚のカードに取扱
店や利用期限の異なる複数種類のポイ
ントを付与することができます。この
仕組により、商品券としてだけではな
く、町の様々な事業にカードの活用が
可能となっています。

主な例を紹介すると、町では移住・
定住政策にも力を入れており、助成対
象の住宅に住んだり、対象の施設で
テレワークをするとポイントが貯まり
ます。その他にもボランティア活動な
ども行政ポイントがあります。利用
者（町外の方）にはポイントが付与さ
れ、地域内で消費が生まれます。町と
しても望んでいる政策を推進でき、地
域内で良い循環が生まれています。利
用も簡単で、「なんにでもなるポイン
ト」なので、町民の皆さんは便利に使
うことができます。

担当者の声

商工観光交流課
課長補佐
赤間 昭己さん



当初は町民に受け入れられるか
不安でしたが、町民や事業者等に
向けて全18回の事業説明会を行っ
てきました。昨年12月に始めた美
証実験では、本年3月末までの利
用期間内に発行額の93・5%の利
用があり、Beコインについて好
意的な意見も多くなってきました。
今後、Beコインを活用した事業
を増やしていきたいです。

今後の展望

本格運用を始めた4月以降のBeコ
インの発行総額は電子商品券事業も含
めると2億円を超え、徐々に町民に浸
透してきています。今後、町外の利用
促進やさらに利便性を向上させるため
情報発信やコンビニでのチャージ、
カードからアプリへの移行を促進して
いきます。また、加盟店の拡大や、行政
ポイントの充実、チャージ利用を促進
することで「Beコイン」の流通量を
増やし、さらなる地域活性化を図って
いきたいと考えています。

『地域とつながるミーティング』 ～地域創生のヒントを探る～



から



日高管内

地域とつながるミーティング

鈴木知事が北海道創生に向けて活躍されている方々から、それぞれの取組や地域への思いなどをオンラインでお伺いします。同席した職員から皆様にその様子をお伝えします。

令和3年10月14日開催

日高管内 地域づくり関係者編

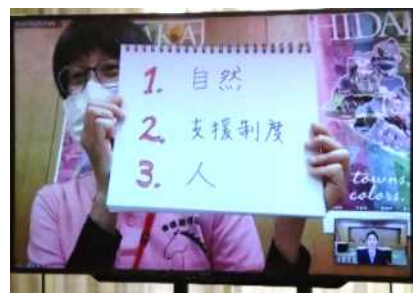
今回が初開催となる「地域とつながるミーティング」では、日高管内で地域の活性化に向けて活躍されている3名の方に、知事がお話を伺いました。

はじめに、新ひだか町で移住コンシェルジュとして活動している市川福子さんにお話をいただきました。市川さんは千葉県のご出身で、2005年に新ひだか町へ移住されました。その後、2013年から現在までの9年間、新ひだか町役場の職員として、移住の担当をされています。ご自身の移住当時を「仕事なし、身寄りなし、お金なし！」だったと振り返る市川さん。その時の苦労や失敗を重ねた経験から、移住の最後の決め手は「人」であるとの想いを持つ

ち、移住者同士や町の人との「つながり」を大切にする取組をお話いただきました。

知事からは「私も移住者なので共感できる」「移住には不安もある中で、市川さんのように実際に体験された方から率直なお話を聞けるのは、すごく強みになる」と発言がありました。

また、馬産地である日高管内ならではの取組として、歴代の名馬をモチーフとしたキャラクターが多数登場するシミュレーションゲーム「ウマ娘プリティダービー」を活用した地域活性化のお話も伺いました。次に、浦河観光協会の中川貢さんからお話をいただきました。中川さんは神奈川県のご出身で、2013年に地域おこし協力隊として採用され、浦河町へ移住されました。



▲知事にクイズ《移住決断のポイントは何？》を出題する市川さん

地域おこし協力隊になる以前に、国内外で観光ガイドを勤めた経験を活かした「短期集中乗馬レッスンプログラム」や「お魚さばき体験と海鮮丼ランチ」など、ツアーの定番でリピーター多数の体験型観光プログラムの取組を紹介いただきました。他にも、知る人ぞ知る

という存在だった巨大な一本桜、「うらかわオバケ桜」を昨年から初めて一般公開したところ大反響を呼び、10日で二万人が訪れたとお話には驚きました。



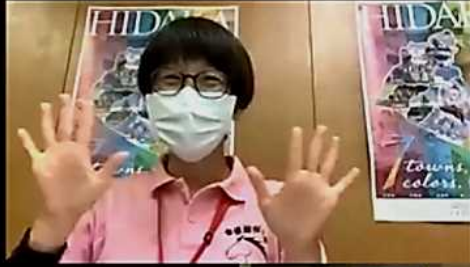
▲うらかわオバケ桜（左）と人気の乗馬レッスン（右）



▲浦河町の魅力を語る中川さん▲

市川 福子さん

(新ひだか町移住コンシェルジュ)



中川 貢さん

(浦河観光協会事業戦略部長)



幌村 佑規さん

(プログレス日高会長)



北村日高振興局長



鈴木知事



最後に皆さんと
記念撮影!



また、現在のコロナ禍、そしてこの先のコロナ後を見据えた取組として、管内7町、振興局、民間団体の3者で連携した「オンライン物産展サイト」の開設に向けた取組も伺いました。「例年開催している札幌市での物産展が開けない中、コロナ禍で大変な事業者さんにとっても新たな販売ルートが増えて、すごく喜んでいらつしゃいます」と話す中川さん。知事からも「オンラインサイトを持つことに踏み出せない事業者さんへ、このような取組によって新たなお客さんを獲得できることが具体的にイメージできると、一歩を踏み出すきっかけになる」と発言がありました。

最後に、日高管内の建設若手経営者の会「プログレス日高」会長の幌村佑規さんからお話をいただきました。幌村さんは地元の新ひだか町出身。本業である建設業の研鑽のみならず、地域の活性化に微力ながら寄与するという「プログレス日高」の目的のもと、様々な活動をされています。

同会の20周年記念として始まった「プログレスの森事業」。建設業においても地球温暖化などへの問題意識が欠かせないという当時の会長の想いから、2010年に日高振興局と森林協定を締結し

植樹を行い、現在までに650本ものトドマツを植樹しました。幌村さんは「ゼロカーボン北海道にも資する取組なので、今後も継続したい」と語ります。

また、道庁前で開催された日高地域の観光PR事業への協力や、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化へ向けて機運醸成のために作成した冊子についてもお話をいただきました。

知事からは「長年続けられている植樹活動といった取組を通じて、地域の大切さや世界的な問題を、より多くの方に知っていただくことにつながればありがたい」と発言がありました。



▲プログレスの森事業と観光PR事業

当日の 知事の言葉から

どうしてもコロナ禍で暗い話が多い中、皆さんが地域で汗を流して活躍されている姿は、知事としても大変心強いものです。今日いただいた様々なお話を踏まえ、道政に皆さんの声を反映していきたいと思えます。

また、こんなにも地域で活躍されている方々がいるのだということを多くの方に知っていただくため、私もSNSなどで広くPRしていきたいと思っております。



地域とつながるミーティングの動画はこちらからご覧いただけます。

北海道とつながるカフェ

参加
無料

北海道とつながろう。

自分らしく働き、休日を楽しむ、北海道暮らしの魅力…
道内各地で活躍する移住の先輩や
北海道ゆかりの方々とリアルな話をしてみませんか？

参加登録
はこちらから

全7回
開催

『オンライン』と『対面』の両方でイベント開催！



GUEST

THEMA

8月	DJ ミツ (マイイ自由の丘 ワイナリースタッフ)	ゆか (発酵科理研究家)	農業&ワイン ×レシビ	北海道の旬のおいしさを引き出す、とっておきのレシピをお届けします。 生産地である旭川市と長沼町の移住の先輩からリアルな北海道の暮らしをご紹介します！
9月	知床の鮭漁師 (漁師)	すしてんちじん 小伊勢健太 (寿司職人)	漁業×寿司	広大な漁場を有する北海道。知床の漁師と、すすきの寿司職人をゲストに 迎え、北海道の漁業や海の幸の魅力についてご紹介！斜里町と小樽市の暮らし について先輩移住者がお伝えます。
10月	あんどうまみ (レポーター・ イラストレーター)	TATSUO (ロストカムイ 出演ダンサー)	アイヌ×アート	北海道の先住民族「アイヌ」。漫画『ゴールデンカムイ』でも描かれる、今話題 のアイヌの魅力を紹介いたします。先輩移住者からリアルな暮らしをお伝えます。
11月	エンマ・マライ (DJ・タレント)	ロス・フィンドレー (アウトドア アクティビティガイド)	観光事業 ×インバウンド	冬にはパウダースノーを求めて国内外から人々が集まる『ニセコ』。 世界が注目するニセコの今の様子やお仕事について紹介します。
12月	清水 宏保 (元スピードスケーター 選手・タレント)	林 克彦 (十勝サウナ会理事)	サウナ×温泉 ×ウィンタースポーツ	今また来ているサウナブーム！ ザ活が盛んな十勝よりサウナの魅力とともにリアルな暮らしを紹介します。
1月	星 昌宏 (プロキャンパー)		キャンプ×星空 ×ワーケーション	自然豊かな北海道はキャンプ場も星空がきれいな山、川、海とバラエティ豊富 です。都会と田舎が融合する函館でのキャンプとワーケーションの魅力 をお伝えます。
2月	全6回のゲストの中からご出演いただきます。 お楽しみに!!		まとめ	全6回の総まとめ！ これからの北海道とのつながり方や、移住についての制度や補助について お教えます。

北海道 総合政策部 地域創生局地域政策課 | hokkaido.iju@pref.hokkaido.lg.jp | Tel.011-204-5089

北海道とつながる
カフェの公式アカ
ウントもご確認
ください！



【公式】移住だべさ！北海道チャンネル
～移住に関する動画を絶賛掲載中～



<https://youtube.com/channel/UC60b1iVo9mWmTpfqgq6AG4w>



「創る」バックナンバーは、“ほっかいどう応援団会議ポータルサイト”へ

QRコード読取で
バックナンバーへ

ほっかいどう応援団会議

検索

URL : <https://hkd-ouendankaigi.jp/info/tukuru.html>